

プログラム

13:00 開会あいさつ

13:05-13:40 「作物育種における DNA マーカーの利用法」

講演者：かずさ DNA 研究所 磯部祥子

13:40-14:20 「野菜の DNA マーカー利用技術をめぐる諸問題」

講演者：(国) 農業・産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所 福岡 浩之 氏

14:20-15:00 「オウトウ育種における DNA マーカー開発と利用」

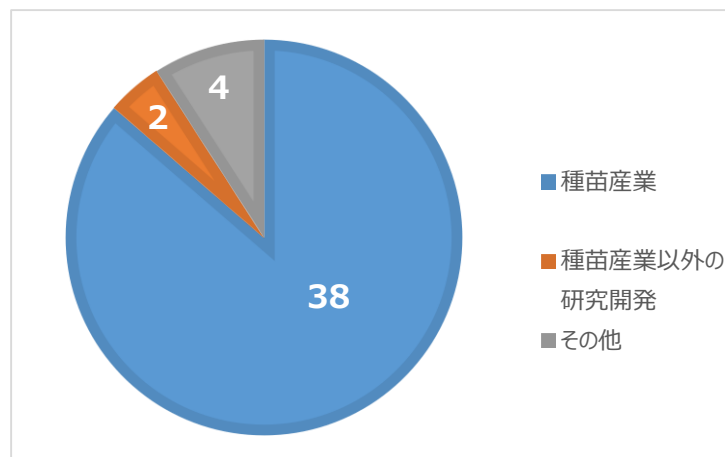
講演者：山形県農業総合研究センター園芸試験場 五十鈴川寛司 氏

15:00 閉会

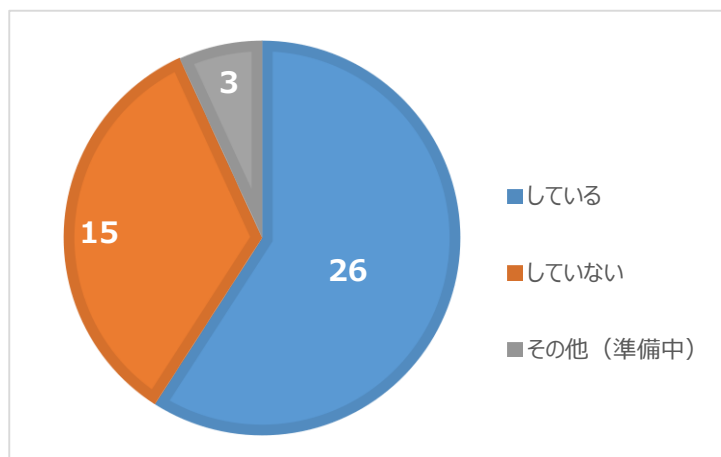
セミナー終了後にミキサーの時間を設け、参加者の間で意見交換を実施した。

また、参加者に対してアンケートを実施し、44 名の回答を得た。アンケートの設問および回答は以下のとおりである。

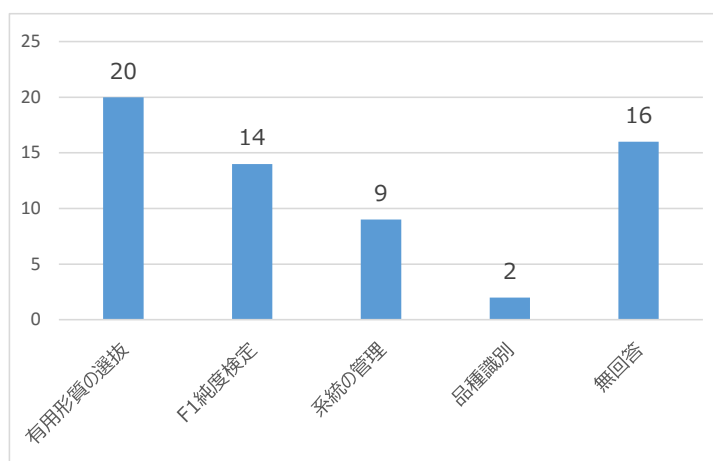
1. ご職業の内容をお選びください。



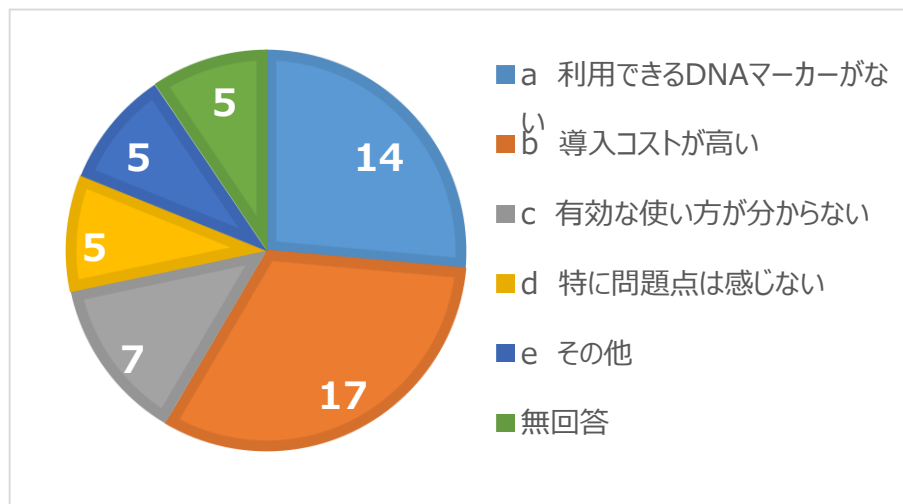
2. 現在のご職業で DNA マーカーを利用していますか。



3. DNA マーカーを利用している方に伺います。マーカー利用の目的は何ですか。（複数回答可）



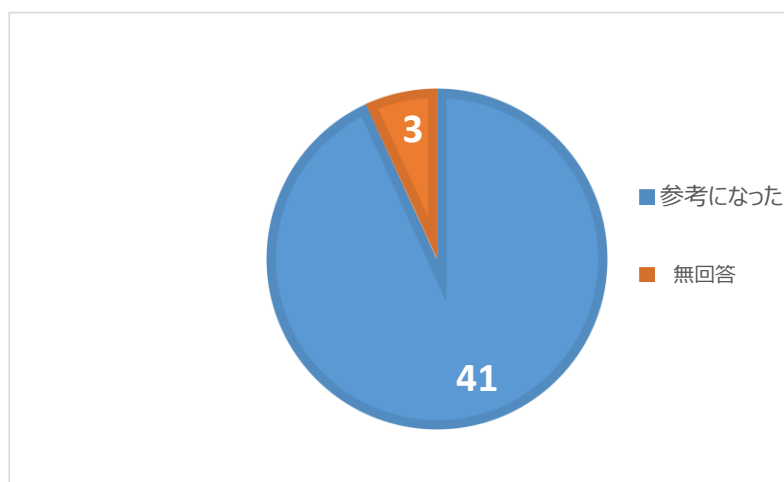
4. DNA マーカーの導入にあたっての問題点があればお答えください。（複数回答可）



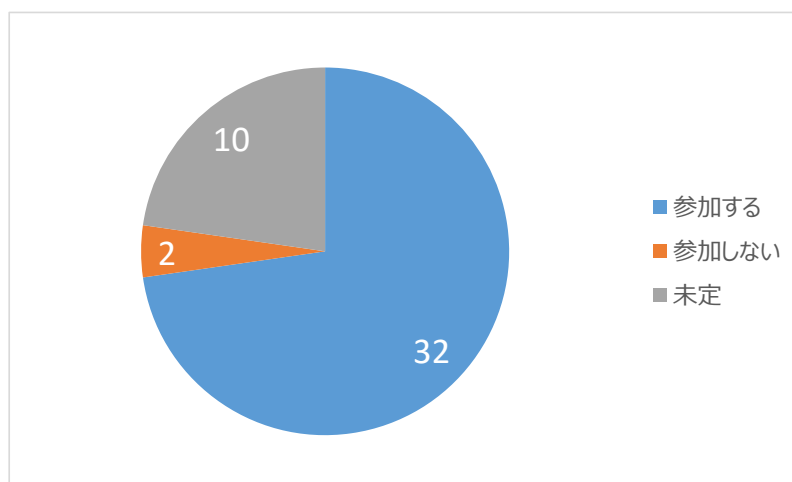
「その他」での自由記載の内容

- ・望む結果に結びつか不明、コスト回収
- ・知識、技術が不足している場合本業に加えて取り組むことが困難
- ・利用できる制度の高い DNA マーカーが少ない
- ・マーカー情報（特に育種選抜用）の文献を集めるのが一般企業では大変である
- ・開発が難しい

5. 本日のセミナー内容はいかがでしたか。



6. 次回セミナー（1/26 日）はご参加されますか。また要望があればご記入ください。



7. DNA マーカーの一層の利用に向けて、必要とする公的支援があればご記入ください。

- ・ 白さび病のマーカーを開発してほしい
- ・ キャベツ黒腐病・晩抽性のマーカーを開発してほしい
- ・ 全体的なコンサルティング・機器類の購入指導
- ・ 花きの研究を進めてほしい
- ・ メロン共台の育種に有用なマーカー開発
- ・ キャベツの単一遺伝子支配の病気抵抗性のマーカーがあれば
- ・ 情報を積極的に公開してほしい
- ・ 実際に DNA マーカーを作成する一連の流れを体験してみたい
- ・ りんご MYSV 抵抗性品種選抜マーカーの開発・MYSV 弱毒株の選抜マーカーの開発
- ・ 参画しやすい共同研究の働きかけがほしい
- ・ 花きの DNA マーカーの開発
- ・ SSR,SNP マーカーを初めて利用するための技術講習会を開いてほしい
- ・ トマト拠点病抵抗性遺伝子マーカー（SCAR）を開発してほしい
- ・ しいたけの発生までの培養期間のマーカー
- ・ 豆類のマーカー開発（ダイズ以外）が可能かお聞きしたい
- ・ 各研究機関が公開しているゲノム DB を国内で全て統一した 1 つの DB に集約してほしい
- ・ 技術講習会があればぜひ参加したい
- ・ ｲﾝｺﾞについて育種に取り組む都道府県は多いがマーカーを自力で開発できる所は限られているため是非マーカー作成をお願いしたい
- ・ マーカー技術について詳しく教えもらえるような講演（基礎的、技術的）を開いてほしい（QTL 解析等）
- ・ 低コストで DNA マーカー利用を行いたい・技術講習会希望
- ・ ポスターセッションのような時間がほしい
- ・ 各業界でより有益となるような DNA マーカーを開発できた際に国から補助金等補助が出るとよい

- ・ 低コストでできるマーカーの利用法の開発
- ・ マーカー情報・データベースの充実・研究講習会を希望（有効な解析ソフトの紹介）
- ・ DNA マーカー開発に先立ち実施する調査（文献・DB 調査）で有効な調査項目の詳細
- ・ コストに関する話が非常に参考になった

8. その他ご意見がございましたらご記入ください

- ・受託事例の紹介
- ・DNA マーカー（プライマー）の作成方法をもっと知りたい
- ・公開されるゲノム情報を使用してマーカー選抜を行う流れをより詳細に教えていただきたい
- ・途中で休憩がほしい
- ・内容が難解なので整理する時間がほしい

3.3 第3回セミナー

セミナータイトル：DNA マーカーの活用による種苗産業のオープンイノベーションセミナー(2)

日時： 1月26日 13:00-15:45 場所：東京ステーションコンファレンス

参加人数：受講者 59 名 関係者 15 名

受講者のうち種苗会社は 53 名、他は農業関連企業、DNA 解析受託サービス会社および公的研究機関だった。

プログラム

13:00 開会あいさつ

第1部 DNA マーカー開発と利用の実際

13:05-13:40 「作物育種における DNA マーカーの利用法・その2」

講演者：（公財）かずさ DNA 研究所 植物ゲノム・遺伝学研究室 磯部祥子

13:40-14:15 「病害抵抗性選抜のための DNA マーカーの開発と利用」

講演者：岩手大学農学部農学生命課程 准教授 畠山 勝徳 氏

14:15-14:25 休憩

第2部 DNA マーカーの利用にむけて-受託解析の紹介-

14:25-14:45 「リーゾが提供する育種向け DNA 解析受託サービス」

講演者：（株）リーゾ 代表取締役 門奈 理佐 氏

14:45-15:05 「DNA マーカーを利用した検査法法の開発とサービス化について」

講演者（株）ファスマック 遺伝子検査事業部 高橋 一人 氏

15:05-15:25 「DNA マーカーを用いた種子品質検査および育種のサポート」

講演者：（株）インコテックジャパン 宮原 章 氏

15:25-15:45 「最先端技術による DNA マーカー利用のトータルサポート」

講演者：（公財）かずさ DNA 研究所 DNA 解析センター 田畑哲之

15:45 閉会

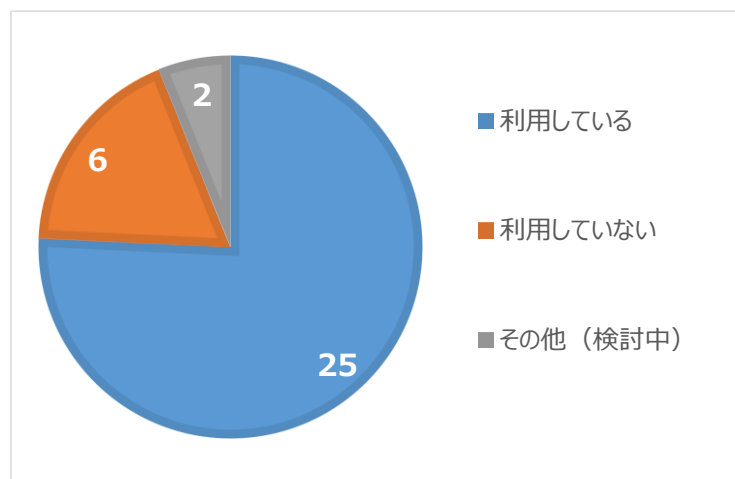
セミナー終了後にミキサーの時間を設け、参加者の間で意見交換を実施した。

また、参加者に対してアンケートを実施し、33名の回答を得た。アンケートの設問および回答は以下のとおりである。

1. ご職業の内容をお選びください。

a. 種苗産業：33名、 b. 種苗産業以外の研究開発：0名、 c. その他：0名

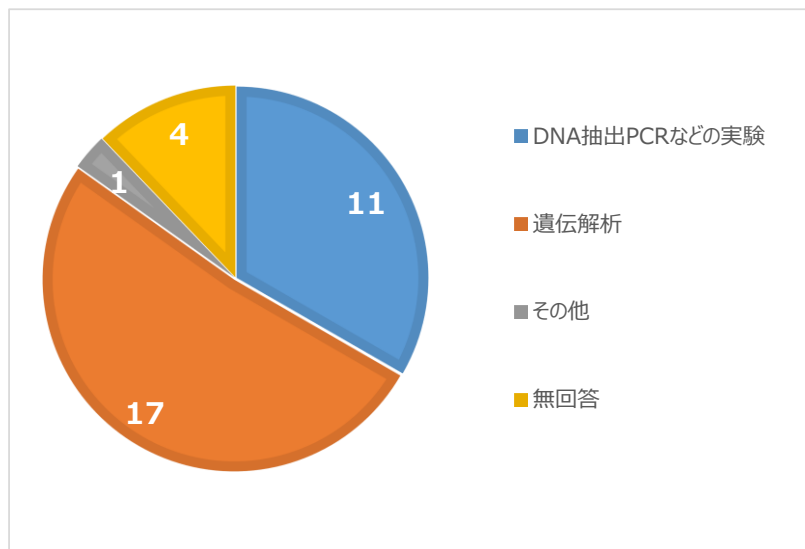
2. 現在のご職業で DNA マーカーを利用していますか。



3. 本日のセミナー内容はいかがでしたか。

a. 参考になった : 33 名、 b. 参考にならなかった : 0 名 、 c. その他 : 0 名

4. 今後技術講習会が開かれた場合、受講したい内容がありますか。



5. 公的サポートによる DNA マーカーの共同開発に興味はありますか。

a. 興味ある : 32 名、 b. 興味ない : 0 名、 c. その他（無回答） : 1 名

6. 5 で a と回答した方のみお答えください。実施にあたってはどのような条件が必要でしょうか（費用負担、系統名を含めた諸情報の公開等）

費用負担 : 12 名、無回答 9 名

その他の回答は下記のとおり。

- ・遺伝資源の公開
- ・耐病性マーカー開発時の接種試験の開発
- ・病気等抵抗性に関する情報がほしい
- ・費用対効果の検証
- ・機器の共有等
- ・こちらでの経費負担内容がわからないと判断できない、最初にわかると話が早い
- ・各会社で開発したマーカーを有償で安価に共同利用したい、特許開発したものを使いやすくしたい
- ・情報公開の制限等